

日本心血管理学療法学会「COVID-19 関連情報特別チーム」
海外の専門情報

No.74

調査者	加藤 倫卓、井澤 和夫、山本 周平
情報ソースの刊行日	2021 年 5 月 24 日
情報ソースの調査日	2021 年 5 月 26 日
日本理学療法士学会 HP に公開された日	2021 年 5 月 27 日
日本語タイトル	高齢の心不全患者におけるフレイル、身体機能、身体活動レベルの軌跡: COVID-19 による外来心臓リハビリテーションの中断と再開の影響
情報ソース	Kato M et al. Trajectories of frailty, physical function, and physical activity levels in elderly patients with heart failure: Impacts of interruption and resumption of outpatient cardiac rehabilitation due to COVID-19. International Journal of Rehabilitation Research: May 24, 2021 - Volume Publish Ahead of Print.
情報のカテゴリー	回復期の心リハ
発信地域	アジア(日本)
URL	https://journals.lww.com/intjrehabilres/Abstract/9000/Trajectories_of_frailty,_physical_function,_and.99323.aspx
要約	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢心不全(HF)患者を対象に、COVID-19 による外来心臓リハ(CR)の中断とその後の再開によるフレイル、身体機能、身体活動(PA)レベルの軌跡を調査した。 ・緊急事態宣言(SE)の間に外来CRを中断し、SE後に外来CRを再開した15名の高齢HF患者を対象とした。 ・フレイルの指標は Kihon checklist (KCL)、身体機能は short physical performance battery (SPPB)、PA レベルは Life space assessment (LSA)を調査した。 ・SE後のKCLは、SE前よりも有意に高かったが(P=0.03)、SE後とCR再開3カ月後のKCLには有意な差はなかった。 ・SPPBとLSAは、SE前とSE後で有意な変化はなかった。 ・SE後からCR再開3カ月後までのLSAの変化は、KCLの変化と相関する傾向があった($r=-0.71$, $P=0.11$)。 ・COVID-19により外来CRが中断された高齢HF患者は、フレイルが悪化することが示された。また、CR再開後3カ月経過しても、フレイルの有意な改善を認めなかった。